

第342回 番組審議会

1. 日 時 令和7年 6月 10日 (火) 12:00～
2. 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
11F「ギャラクシー」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 8名

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)
佐藤 修一 (副委員長)
— 50音順 —
石田 征広
大瀬 雅和
岸 真英
菅原 正二
平野 順子
八木橋 伸之

○ 会社側出席者

齋藤 秋水 (代表取締役社長)
高嶋 昇 (常務取締役営業局長)
君澤 温 (常務取締役総務局長)
櫻 克宏 (取締役報道局長)
近谷 利政 (取締役コンテンツ推進局長)
佐々木 雄祐 (報道部部長)

○ 事務局

岩渕 博美

4. 議題 「FNS ドキュメンタリー大賞ノミネート作品

それでも前へ ～大船渡 平成以降最大の山林火災～

放送日時：令和7年5月24日（土） 14：00～14：55

5. 議事概要

今回は、5月24日に放送した「FNS ドキュメンタリー大賞ノミネート作品
それでも前へ～大船渡 平成以降最大の山林火災～」について審議しました。

はじめにディレクターの佐々木雄祐が「山林火災で被災された方々、東日本大震災との二重被災をされた方々、遺族の方、それぞれの3カ月間の歩みを可能な範囲で取材した」「全国でも放送されるため、視聴者に被災者の現状と火災の恐ろしさを認識していただき、再発防止にもつながればという思いで制作した」と、番組のテーマや内容について説明しました。

【委員からの意見】

委員からは「とても丁寧な取材で二重災害の側面をしっかりと浮き彫りにしていたところに感心した」「被災者が被害を受けながらも頑張る姿がそのまま画面に映っているのが好感をもてた」という意見が出ました。

一方で「被災者の思いは十分伝わったが、視聴者にできることは何なのかななどの支援者側の思いを盛り込んでも良かったと思う」「全国放送するには説明が足りずわかりづらいところもあった」という意見もありました。